

## — 東日本大震災への支援等について —

3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震並びに大津波の被災者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

また、この度の被災により亡くなられた方々に衷心よりお悔み申し上げ、哀悼の意を表します。

町民の皆様方には生活用品などの救援物資や、自治会を通じての義援金にご協力いただきありがとうございます。各総合支所・出張所・出先機関19か所では、4月30日まで義援金受付箱を設置しています。

本町では町民皆様方の多くの義援金のほか、町としてもさらに500万円の義援金を予算計上し、併せて防災備蓄用品（備蓄食料、飲料水、毛布や簡易トイレ、携帯式ラジオなど総額700万円）を被災地へ届けました。また、町職員（保健師1名）を被災地へ派遣するなど、これからもできる限りの支援・対応を進めてまいります。



3月18日  
岩国海上自衛隊へ防災備蓄用品などを届け、宮城県の離島、あじしま網地島に送られました。

### ワンテマディスカッションを開催しています

町民の皆さんが積極的に町政運営に参画する仕組みとして、町長自らが町民の皆さんのところに出向き、自由な雰囲気の中でひざを交えて話し合いを行い、町民の「声」を聴く意見交換会「町長と意見交換会（ワンテマディスカッション）」を実施しています。

昨年10月から3月までに開催された意見交換会は表のとおりです。

No	開催日	場所
7	11月9日	橋（真宮）
	(テーマ) 周防大島町の保育について	
8	11月10日	橋（原）
	(テーマ) 台風対策および急傾斜危険対策について	

#### ◆申し込み・問い合わせ

政策企画課 ☎0820(74)1007

の担い手の育成支援を行います。  
体験交流型観光推進事業について、新年度は多くの修学旅行生が予定されており、地域の皆様のご協力を得ながら受入れ準備に努めます。

○自然と環境にやさしい町づくり

シルバー層の周防大島町への移住対策のため、空き家調査及び空き家バンク登録の意向調査などを本格的に実施します。下水道については、新規に久賀地区及び大島地区の公共下水道整備計画を策定し、下水道整備の促進を図ります。

○晩年を豊かで安心して過ごせる町づくり

避難者の方々の不安解消を図るために、防災用品を備えた防災倉庫を計画的に設置し、防火水槽も2基新設します。

住環境の改善と地元経済対策の一環として、住宅を地元施工業者によりリフォームした場合、その経費の一部を助成する制度を新規に開始し、特に体験型修学旅行生受入れ家庭のリフォームの場合は、助成額をさらに上乘せすることとされています。

福祉医療では従来のがん検診に

加えて、前立腺がんの検診を新たに実施します。

また、町民の要望の強い橋斎場の葬儀場整備、及び大島斎場の和室等増築の調査設計を開始し、東和病院の未耐震部分である東棟改築の設計業務にも着手します。

○次世代に素敵な未来を約束する町づくり

地上デジタル放送化による「難視聴地域」については、CATV網整備によりその解消を図り、併せて一般世帯も含め加入負担金の助成を行います。

また、安下庄小学校グラウンドにナイター照明設備を整備します。本年10月に開催されます、山口国体の準備への取り組みを一層強化し、選手、関係者等が競技に専念できる環境づくりに努め、同時に機運の醸成を図ります。

これらの政策の実現に向けまして私の持てる力を十分に発揮し、まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に推進してまいります。議員各位をはじめ町民の皆様方の、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。